

立志

志をもち
自ら学び
ともに高め合い
逞しく生き抜く



令和6年1月12日(金)発行 校長 川崎 朗

入試シーズンのスタート!人事を尽くして天命を待つ!!

来週の木曜日18日に県内の私立高校の前期入試が行われ、これを皮切りに以下のとおり本年度の高校入試シーズンが本格的にスタートします。

佐賀県内私立高校前期入試…1月18日(木)
佐賀県内私立高校後期入試…2月1日(木)
佐賀県立高校特別選抜…2月6日(火)
佐賀県立高校一般選抜…3月5日(火)・6日(水)



これ以外にもうすでに受験をした人やこれから県外の高校を受験する人もおり、3年生にとっては自分の進路を実現するための一番大切な時期となります。

受験勉強はマラソンと同じです。長い距離をコツコツと走ることに同じように、中学校3年間で毎日の授業を大切にしながら、家庭で予習・復習などの学習を継続的に行った成果が入試本番で発揮されるのです。つまり、3年間の積み重ねがすべて入試の中に出てくるのです。私立高校の前期入試まで5日、後期入試まで19日、県立特別選抜まで25日、県立一般選抜までは52日もあります。これだけあれば、まだまだできることはたくさんあります。今できることを精一杯やって、後は結果を待つだけです。まさに、「人事を尽くして天命を待つ」です。私たちにできることは「人事を尽くす」ことだけ、つまり日々の授業と家庭での学習を頑張ることだけです。入試には当然、合否がありますが、それは人事を尽くした結果です。入試を受ける側は、最終的な結果を自分で決めることはできませんが、自分ができることを精一杯やることでそこに近づくことはできます。結果はあくまでも取り組んだ成果です。結果だけにこだわらないで、今なすべきことをひたすらに成し遂げてほしいと思っています。

私が大好きな言葉に「過去を追うな、未来を願うな、過去は過ぎ去ったものであり、未来はまだ到っていない。今なすべきことを努力してなせ」という釈迦の言葉があります。未来を切り開くためには、今が大切なのです。受験生のみなさん、今なすべきことに最善の努力を尽くしましょう!

下級生も自分の将来のことについて考えましょう!

上に述べたように、3年生にとっては、まさに今が自分自身の進路を実現させるために全力を尽くす時期であり、進路実現のために精一杯頑張っていることと思います。

1・2年生のみなさんも、この3年生の姿を見ながら、3年生一人一人が希望する進路を実現できるよう応援するとともに、この機会に自分自身の将来のことについてしっかりと考えてほしいと思います。なぜならば、今の3年生の姿は、2年生にとっては1年後、

1年生にとっては2年後の自分自身の姿なのです。

中学校卒業後の進路は誰かが決めて与えてくれるものではありません。自分自身が、自分の将来の自分自身の生き方や就きたい仕事などを考えながら、そこに進むためには、中学校卒業後にどのような進路をとればいいのかを決めて、そこに合格できるために必要な力を中学校生活の中で身につけなければなりません。

生徒のみなさんが、高校など自分の進路先を選ぶのと同様に、高校もみなさんを選びます。つまり、全員が選ばれるとは限らないということをしかりと理解した上で、自分の希望する進路を実現させるためにはどのようなことを意識して学校生活を送らなければならないのかを考え、それに向かって日々行動することが必要になります。

中には、「3年生になってから頑張ればいい」など思っている人がいるかもしれませんが、そんなことは決してありません。まずは事実を知らなければなりません。

- ① 高校入試の試験問題には、3年生での学習内容だけでなく、中学校3年間で学んだ内容がすべて出題されます。1年生や2年生で学習したことも入試では出題されます。
- ② 高校入試では中学校が受験する生徒一人一人について調査書を作成して高校に提出しなければなりません。県立高校の調査書では3年生の内容だけでなく、1・2年生の内容も記載するようになっています。
- ③ 学校行事や生徒会活動、部活動や表彰などで頑張ったことも3年生時のことだけでなく、1・2年生時のことも調査書には記載されます。

つまり、3年間の学校生活全てが自分の進路実現には大きく関わっています。中学校に入学してからこれまでの学校生活をどのように過ごしてきましたか?しっかりできたという人もいるでしょうし、逆にあまりできていないという人もいるかもしれません。できなかったと思っている人も、今からでは遅いということは全くありません。がっかりしないで、未来を見て前進してください。

カナダの精神科医エリック・バーンは、「過去と他人は変えられない。あなたが変われるのは自分自身と未来だ」といました。うまくいかなかった過去に執着し、他人の言動に怒りを感じても、それは自分にはどうすることもできません。でも、自分自身と未来をより良いものにすることは、自分でできます。2年生はあと1年、1年生は2年もあります。これまでの自分をどんなに悔やんでも何も変わりません。これからの自分のことを考え、改めるべきところは改めて行動することで自分自身の未来を変えることができます。

「どうせ、できない」「どうせやたって同じ」と最初から決めつけ、あきらめてしまっただけは何も実現できません。今はできなくても何も問題ではありません。将来の自分ができるようになるために、今やるべきことをやり続けることが大切なのです。

どんな人でも最初から成功したわけではありません。何度も失敗を繰り返しながら、それでもあきらめずにやり続けた結果として成功したのです。

最初にいいましたが、自分の将来は自分で考え、決断して行動することでしか実現させることはできません。大切なことは、いつ気づいて行動するかということです。行動するためにも、自分が将来どんな人生を歩みたいのか、中学校卒業後にどのような進路をとりたいのかなどを考えてください。

保護者の皆様にお願ひです。進路のことを考えるに早すぎることは決してありません。家庭の中でも将来のことや高校のことなどを話題にして、子どもたちと一緒に考える機会を設けていただければと思います。また、自分自身の経験を子どもたちに話していただくことも大切です。「自分が通った道は、いつか自分の子どもが通る道です」。